



株式会社ナックイメージテクノロジー
CREATIVE 制作営業部
2018年8月17日 SETEC63-021



アレクサミニ SUP 5.4

ソフトウェア・アップグレード・パッケージ SUP 5.4.13

リリースノート 日本語版

2018年8月17日

和訳・追記

株式会社 ナックイメージテクノロジー
営業本部 制作営業 1 部
〒107-0061
東京都港区北青山 2-11-3
03-3976-7901

目次

概要	3
SUP 5.4 の新機能.....	3
以前のバージョンからの変更点.....	3
アップデートに関する注意点.....	3
ダウングレードに関する注意点.....	3
その他のソフトウェア.....	4
その他の注意点.....	4
SUP 5.4 の新機能	5
新型ビューファインダーパネルを搭載した MVF-1 のサポート.....	5
Master Grip のステータス表示.....	5
REGEN モードにおけるタイムコード機能の変更.....	5
センターマークオプション “Small Cross”.....	6
既知の問題	7
SUP 5.4 で解決された既知の問題.....	7
SUP 5.4 における既知の問題.....	7
アクセサリ.....	7
EXT Sync.....	7
フレームグラブ.....	7
入力/出力.....	7
メディア.....	8
メタデータ.....	8
再生.....	8
収録.....	9
SUP アップデート.....	10
タイムコード.....	10
ユーザビリティ.....	10
ビューファインダー.....	11
アップデート手順	13
ダウンロードおよび登録方法.....	13
ソフトウェア・アップデート・パッケージの取得.....	13
カメラのアップデート方法.....	13

概要

ALEXA Mini用ソフトウェア・アップデート・パッケージ (SUP) 5.4 がリリースされました。このバージョンで拡張される機能は以下に記載されています。

SUP 5.4 は多くの機能向上を含んでいるため、可及的速やかにアップグレードしていただくことを推奨いたします。

カメラをご利用になる前に本文書や「既知の問題」項をご一読ください。

オンラインカスタマーレジストレーションをまだ行っていない場合、下記の URL からお持ちのカメラをご登録してください。今後、ソフトウェアアップデートなどの最新情報を速やかにお送りいたします。

https://www.arri.com/login/register_alexamini_customers/

詳しい情報は、以下の URL からご覧いただけます。

<http://www.arri.com/alexamini>

よくある質問とその回答は、以下の URL からご覧いただけます。

http://www.arri.com/camera/alexamini/learn/learn_overview/

SUP 5.4 の新機能

- ・ **新型ビューファインダーパネルを搭載した MVF-1 のサポート**
シリアルナンバーが 12000 以降の ALEXA Mini MVF-1 は新型 OLED ビューファインダーパネルを搭載しており、輝度を 120/200/300Nits から選択できます。
- ・ **Master Grip のステータス表示**
- ・ **REGEN モードにおけるタイムコード機能の変更**
- ・ **センターマークオプション “Small Cross”**

以前のバージョンからの変更点

- ・ MENU > User buttons > Master Grips user buttons の名称を “LBUS device user buttons” に変更

アップデートに関する注意点

カメラの SUP は常に最新バージョンに更新し、新機能、改善点、バグフィックスを適用してください。ただし、作品の撮影中に新しい SUP をインストールすることは推奨しません。

アップデートプロセスの詳細は本文書に記載されています。

SUP 5.4 はビューファインダーを含む全てのコンポーネントに関するアップグレードなので、所要時間は従来に比べ大幅に増加しています。ファームウェアアップデート中はビューファインダーの電源が落ちるため進行状況を視覚的に確認できませんが、絶対にカメラの電源が落ちないように注意してください。

ダウングレードに関する注意点

SUP 5 から SUP 4 へのダウングレードは一度しかできません。SUP 5 にはハードウェアに関連するアップデートが含まれているため、SUP 4 が二度インストールできないよう制限されています。もし SUP 4 へのダウングレードが何らかの理由で失敗した場合、SUP 5 をインストールし直してから再度ダウングレードを行ってください。

以前の SUP バージョンにダウングレードするには、任意のライセンスファイル (amini_fw_update_aes_x.x.x.lic) を USB メモリースティック内のディレクトリ/ARRI/A-MINI/LICENSES/に保存してください。

その他のソフトウェア

SUP 5.x をインストールしたカメラで、特にユーザピクセルマップやプロジェクトのカラーマネジメントに HDR Look を使用する場合、バージョン 3.4.5 以前の ARRIRAW Converter (ARC)はバージョン 3.5 以降にアップデートしていただくことを推奨します。Rec 2100 PQ や HLG などの HDR カラースペースは、旧バージョンの ARC では Rec 709 であると誤認識されるため、カラープロセッシングやエクスポートしたデータのカラースペースメタデータに誤りが発生する恐れがあります。

その他の注意点

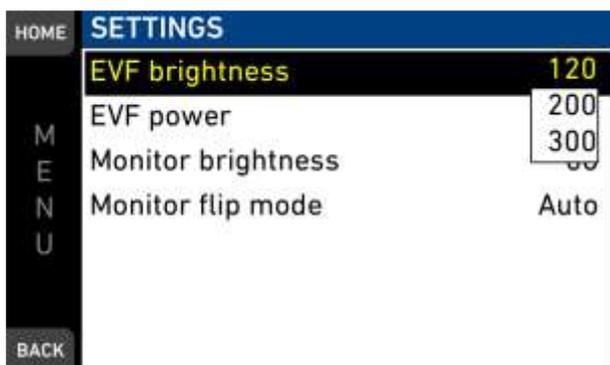
以前の SUP のカメラで撮影したデータが入っている CFast 2.0 カードをカメラに挿入すると、カメラにエラーメッセージが表示されることがあります。このメッセージは、カメラでカードを ERASE した後に再度挿入すると解消されます。詳しくは、“C. 既知の問題”章の“異なる SUP のデータが入った収録メディア”項をご覧ください。

SUP 5.4 の新機能

新型ビューファインダーパネルを搭載した MVF-1 のサポート

シリアルナンバーが 12000 以降の ALEXA Mini MVF-1 には、新型 OLED ビューファインダーパネルが搭載されています。新型ビューファインダーパネルは SUP 5.4 以降にのみ対応しており、それ以前のバージョンでは映像を表示できません。

新しく補正されたパネルにより、輝度が 120/200/300Nits から選択できるようになりました（ファクトリーデフォルトは 120Nits）。EVF ガンマは従来のビューファインダーパネルにおける“Lifted”に相当する設定で固定されています。既存の MVF-1 にはこの変更による影響はなく、従来どおりの機能を継続してご利用いただけます。



MENU > Monitoring > EVF/Monitor > Settings > EVF brightness

Master Grip のステータス表示

ステータスインフォに表示されているレンズ軸（アイリス/フォーカス/焦点距離）のうち、いずれが Master Grip に操作されているかが明示されるようになりました。Master Grip に操作権が移ると、そのレンズ軸は以下のように白く表示されます。

IRIS T 5.6 アイリスの操作権が Master Grip にない状態

IRIS T 5.6 アイリスの操作権が Master Grip にある状態

この表示方法は、Master Grip 1 台でフォーカスとアイリスを切り替えながら操作する際に有効です。

REGEN モードにおけるタイムコード機能の変更

REGEN モードにおいて、SMPTE 準拠のジェネレータとの互換性により断続的に警告が発生する問題に対応しました。SUP 5.0 以降のカメラでは、タイムコードソースが JAM Sync モードやチューニングにおいて正常に動作するよう、タイムコード信号を厳密に管理していました。今回、カメラのチューニングには合わない SMPTE 準拠のジェネレータをサポートするために、REGEN モードからこの管理機能が一部削除されています。その結果、一部のタイムコードに関連する警告が表示されなくなるため、カメラに適用されているタイムコード信号がプロジェクト設定に一致しているか、カメラオペレータ自身がより注意する必要があります。REGEN モードで表示されなくなる警告は以下のものです。

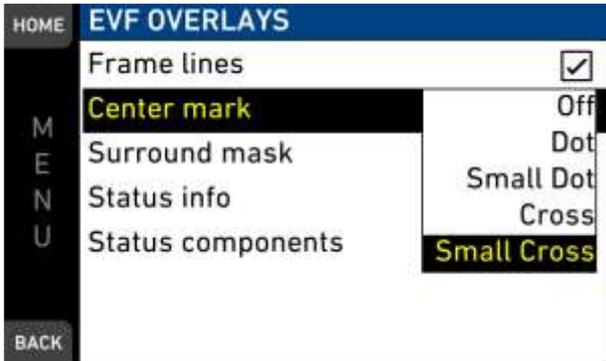
- “LTC In frame rate is incompatible with project frame rate”
(整数と非整数のフレームレートが混合している)
- “LTC In drop frame configuration mismatch”
(カメラとソースのドロップフレーム/ノンドロップフレームが一致していない)

※いずれの場合においても、“Timecode synchronization is required”という警告が表示されます。

- “LTC In frame rate differs from project rate”
(整数または非整数のフレームレートが混合している)

センターマークオプション “Small Cross”

EVF および SDI に表示できるセンターマークに、Small Cross が追加されました。



MENU > Monitoring > EVF/Monitor > EVF Overlays > Center mark

MENU > Monitoring > SDI > SDI processing > Overlays > Center mark

既知の問題

SUP 5.4 で解決された既知の問題

- ARRIRAW 2.8K 収録モードでは、レンズデータのステータスインフォへの表示やメタデータへのエンベッドはありません。
- プロジェクトレートが 59.94p の ProRes クリップを再生する際に、SDI 出力やヘッドフォン出力でのオーディオ再生がノンリニアになる事があります。

SUP 5.4 における既知の問題

ここでは SUP 5.4 における既知の問題を列挙しています。

アクセサリ

- **キヤノン B4 レンズ HJ18 のスタート/ストップ**

ARRI B4 マウント使用時にキヤノン HJ18 のケーブルが接続された状態でスタート/ストップ機能が動作しなかった場合、レンズの“Reset all”を実行してください。

EXT Sync

- **同期モードでオフスピード撮影中に SDI 設定を変更する**

カメラがオフスピード撮影中 (sensor fps != project fps) に SDI 設定 (SDI フレームレート/SDI フォーマット/SDI イメージ) が変更された場合、SDI 出力が互いに同期していないことがあります。この場合、マスターカメラのセンサーfps 設定を前後に調整することで、SDI 出力同期を再確立させてください。

- **設定されていないスレイブカメラでのアラート誤表示**

まだスレイブカメラに設定されていないカメラがマスターカメラに接続されている場合、アラートが誤表示されます。EXT Sync を構成する場合、先にすべてのスレイブカメラを準備してからマスターカメラをセットアップしてください。

フレームグラブ

- **インタレースの S16 および HD クリップをポーズしている間はフレームグラブ不可**

フレームグラブを行う場合、再生中に行ってください。

- **ARRIRAW 再生時のフレームグラブ**

ARRIRAW 再生中にフレームグラブを行った場合、フレームのエッジ部分でピクセルの輝度が異なって表示されることがあります。

入力/出力

- **タイムコード同期を使った際の SDI 出力**

同期ソースとしてタイムコードを使用した場合、SDI 出力がソースに完全に同期しないことがあります。この場合、3 値

同期の Genlock 信号を使用してください。

- **3.2K 収録モードでの 1.3x アナモフィック・デスクイーズモニタリング**

3.2K 収録モードでアナモフィック・デスクイーズを使用した場合、EVF/SDI 出力にスケーリングアーティファクトが表示されることがあります。これはモニタリング映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。

- **UHD SDI 出力では 1.3x アナモフィック・デスクイーズ使用不可**

1.3x アナモフィック・デスクイーズは 422 6G/DL 422 6G/422 3G DL の UHD SDI 出力映像に反映されません。

- **同期ソース接続時に SDI 出力が一瞬失われる**

Genlock やタイムコードソースに接続する際に、SDI 出力には再同期がかかるため、一瞬出力が失われることがあります。

- **EVF ズーム時では 1.3x アナモフィック・デスクイーズ使用不可**

1.3x アナモフィック・デスクイーズは EVF ズーム時の映像に反映されません。

- **6G に設定する際に SDI 出力が一瞬失われる**

SDI 出力を 6G に、または 6G から別のフォーマットに変更する際に、両方の SDI 出力が一瞬失われることがあります。

メディア

- **CFast 2.0 カードのクロスプラットフォームフォーマット問題への対策**

他社製のカメラで CFast 2.0 カードをフォーマットした際に、スキームの違いにより問題が発生することへの対策として、収録に使用できる CFast 2.0 カードは、SUP 4.0 以降の ALEXA Mini または AMIRA で ERASE を行ったものに限定されます。

メタデータ

- **ティルト・ロールデータの精度**

メタデータ内のティルト・ロールの値の精度は、VFX アプリケーションでの使用において最適ではないことがあります。

再生

- **HDR Look が焼きこまれたクリップは MVF/EVF で正しく表示されない**

HDR Look が焼きこまれたクリップを再生した場合でも、HDR に対応しておらず、トーンマッピングが行われていない MVF および EVF では正しく表示されません。これはモニタリング映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。いずれにせよ、HDR 撮影の際に Look を焼き込むことは一般的に推奨しておりません。

- **4444 XQ クリップのカメラ内再生**

ProRes 4444 XQ で収録したクリップを再生すると、ジッターの表示やフレームが水平に分割されたような映像になることがあります。これはモニタリング映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。

- **ポーズ時に、インタレースのクリップは縦の解像度が半分しか表示されない**

これは SDI 再生映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。

- **カメラボタンでのクリップリストのブラウジング**

カメラボディのボタンを使って再生メニューのプレイリストをブラウズした場合、ビューファインダー側で選択されている用に表示されているクリップと異なるクリップを実際には選択している事があります。

- **SDI 出力がインタレースに設定されていない場合、インタレース映像に縦方向のジッターが発生する**

これは SDI 再生映像にのみ発生し、クリップ自体に問題は発生しません。60i のクリップを再生するときは SDI 出力を 60i にするなど、SDI 設定をプロジェクト設定と一致させてください。

- **再生モードを起動してもピーキングは解除されない**

再生中にピーキングを表示したくない場合は、手動でピーキングを解除してください。

収録

- **ARRI_UDF システムではない CFast カードでもフォーマットを促されない**

MVF ディスプレイがライブビューになっている場合、カメラは CFast カードをフォーマットするように要求しません。カードのファイルシステムが ARRI_UDF でなく、FAT32 や ExFAT 等の場合でも同様です。

- **MPEG または ARRIRAW 再生モードからの収録**

MPEG または ARRIRAW 再生モードから直接収録を開始しようとすると、"Recording stopped due to FPGA failure. Please reboot camera." というエラーメッセージが表示されることがあります。収録前には必ず再生モードから戻ってください。

- **再生モードからの収録**

再生モードから直接収録を開始できないことがあります。この場合、再度 REC ボタンを押してください。

- **インターバル収録中の残り時間誤表示**

大容量の CFast 2.0 カードを使用した場合、インターバル収録時に収録可能時間が誤って表示されることがあります。

- **Noise Reduction の"Strong"設定**

S16HD/3.2K 4:3/2.8K/4K UHD モードで Noise Reduction を"Strong"に設定した場合、素早く移動する被写体にアーティファクトが発生する恐れがあります。事前にテストすることを推奨します。

- **CFast 2.0 カードへ書き込み中の電力喪失**

カメラが CFast 2.0 カードへ書き込んでいる際にカードを取り出すかカメラの電力が喪失した場合、カードを再度フォーマットしてください。カード自身やその後の収録に悪影響を及ぼさないよう、カメラに表示されるエラーと警告メッセージに従ってください。詳しい情報や他の問題が発生した場合は ARRI サービスセンターまでご連絡ください。

- **HD-SDI 出力が 2K に設定された場合のダウンスケール収録**

2K 解像度を HD にダウンスケールした収録では、収録された映像の画質はモニタリングには最適ですが、マスター

レコードとしては不十分である場合があります。HD-SDI 収録をマスターレコードにする場合、収録フォーマットを HD に設定してください。

- **最大クリップサイズに対するエラーメッセージ**

非常に稀に、カメラが収録を停止して"Recording stopped - maximum clip size reached"というメッセージが表示されることがあります。これは ProRes LT などのデータレートの低いコーデックでディテールが非常に少ない映像を収録した場合に発生します。

- **収録中の感度・ホワイトバランスの変更**

収録中に感度 (Exposure Index)やホワイトバランス (White Balance)を変更した場合、1つのフレームの中で2種類の映像が競合する場合があります。

- **CFast 2.0 カードのリール数制限**

1枚のCFast 2.0 カードに収録できる最大リール数は、ProRes/ARRIRAW MXF の場合 15 リールです。リール数が最大に達した場合、リールの追加はできませんが映像の収録は可能です。

SUP アップデート

- **異なる SUP のデータが入った収録メディア**

CFast 2.0 カードに以前の SUP のカメラで撮影したデータが入っている場合、カメラに"Binary clip table is corrupt. Please backup and erase card"というエラーメッセージが表示されることがあります。このメッセージはカードの問題を示すものではありません。カードのデータがすべてバックアップされていることを確認してください。カードを ERASE することでバイナリクリップテーブルが削除され、エラーメッセージは解消されます。すべてのカメラを同じ SUP にアップデートすることでこの問題は回避できます。

- **Time zone/daylight saving time が自動で設定されない**

ソフトウェアアップグレードの後には Time zone/daylight saving time を手動で設定してください。

タイムコード

- **タイムコードを使用して複数のカメラを同期する**

Timecode Sync と Timecode Mode Regen を使って複数のカメラを同期した場合、プロジェクトレートが 30fps 以上に設定されているとタイムコードが 1 フレームオフセットして表示されることがあります。

- **センサーの LTC タイムコード同期に必要なタイムコードジェネレータ**

LTC タイムコード信号でカメラを Genlock するには、精度が高くジッターが少ないジェネレータが必要です。通常の LTC タイムコードソースとしては問題がないデバイスでも、LTC Genlock ソースとしては不十分な場合があります。

ユーザビリティ

- **WCU-4 でレンズファイル編集時のキャリブレーション要求**

カメラに LDS レンズが装着された状態で、アクティブになっている LDA レンズファイルを WCU-4 から編集しようとしたときに、カメラがレンズモータのキャリブレーションを要求することがあります。この場合、編集前に再度キャリブレ

ーションを行ってください。

- **出力プロセスが“ALEXA Classic 709”に設定されている場合、波形表示は自動的にオフになる**

HDR 撮影中に出力プロセスを“ALEXA Classic 709”に設定すると、波形露光ツールは自動的にオフになり、ユーザボタンと MVF-1 の EXP ボタンは無効化されます。

- **CAP 経由でのフレームGrab**

再生中のカメラに対して CAP サーバ経由でフレームGrabを行った場合、再生中の映像ではなく、センサーのライブイメージが収録されます。

- **ティルト・ロールステータスのオーバーレイ**

カメラの動きによりティルト・ロールが正確に計算できない場合、電子レベラーおよびティルト・ロールのオーバーレイが誤表示される事があります。

- **最新バージョンの EF マウントは SUP 4 で使用できない**

カメラのファームウェアを SUP 4 にしても EF マウントはダウングレードされません。この場合、SUP 5.x にアップグレードされた EF マウントは使用できません

- **タイムコードモードの Jam Sync と Genlock Sync は併用不可**

タイムコードモードの Jam Sync または Genlock Sync を使用する場合、カメラの内部オシレータはソースクリックに準拠します。そのため、Jam Sync と Genlock Sync を併用することはできません。

- **フレームGrabにミラーイメージのパーティカルフリップは適用されない**

ミラーイメージ使用時でも、フレームGrabには水平フリップしか適用されません。

- **一部のフォーマットではアナモフィック・デスクイーズを解除できない**

ProRes HD Ana.および 2:39:1 2K Ana.収録モードではアナモフィック・デスクイーズを解除できません。

- **以前のバージョンでのユーザセットアップは SUP 5.0 以降のカメラと互換性がない**

SUP 4.0 以前で作成したユーザセットアップは、SUP 5.0 以降のカメラではロードできません。

- **Starlite HD5-ARRI のディスプレイに UI が表示されていない場合**

Starlite HD5-ARRI が CLEAN 表示の SDI 出力に接続されていた場合、タッチインタフェースが有効化いても画面に何も表示されないため、スクリーンの対応した部位に触れると設定を気づかれぬまま変更されることがあります。タッチインタフェースが表示されるよう、PROCESSED 表示の SDI 出力に接続してください。

ビューファインダー

- **新型 MVF-1 を初めて接続した際のキャリブレーション**

新型 OLED ビューファインダーパネルを搭載した MVF-1 を初めて接続した場合、キャリブレーションが開始されるまで約 10 秒かかります。

- **4:3 2.8K モードでのアナモフィック・デスクイーズのスケーリングアーティファクト**

これはモニタリング映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。

- **シリアルナンバー 2150 以前またはアップグレードしていないアイピースの近接センサー**

正しくない角度でビューファインダーに接近した場合、近接センサーが反応せず OLED ディスプレイが表示されない場合があります。

- **超低フレームレートでの ZOOM またはサラウンドビュー**

約 5 fps 未満の超低フレームレート撮影時に ZOOM やサラウンドビューの ON/OFFLINE を切り替えると、EVF/モニター映像が一時的に薄くなることがあります。

アップデート手順

ダウンロードおよび登録方法

ソフトウェア・アップデート・パッケージ (SUP)は下記 URL の ARRI ウェブサイト内 ALEXA Mini DOWNLOAD セクションでダウンロードできます。

http://www.arri.com/camera/alexa_mini/downloads/

SUP のダウンロードには、お持ちの ALEXA Mini カメラのシリアルナンバーを登録する必要があります。すでに有効なアカウントをお持ちの場合、そちらでアクセスしていただくこともできます。

USB スティックを使用して、以下の方法でカメラに SUP をインストールしてください。

ソフトウェア・アップデート・パッケージの取得

- まだカメラが未登録である場合、下記 URL の ARRI ウェブサイト内 ALEXA Mini DOWNLOAD セクションで ALEXA Mini Software Update Package x.x (バージョンナンバー)の“Please -> register to get an account.”をクリックし、ALEXA Mini カスタマーレジストレーションページを開いてください。

http://www.arri.com/camera/alexa_mini/downloads/

- 必要な項目に入力し、カメラのシリアルナンバーを K1.71700.0-xxxxx という法則で入力してください。また、登録条項をご確認の上ページ末尾で同意してください。
- “Create account”ボタンを押すとアクティベーションリンクを記載した通知メールが自動的に送付され、そのリンクにアクセスするとログイン用の資格情報を含むメールが送付されます。下記 URL からログインし、再度 DOWNLOADS セクションにアクセスしてください。

<http://www.arri.com/login/login>

- SUP ファイルにアクセスすると、ダウンロードに関する規約と条件が表示されるので、内容をご確認の上同意してください。ダウンロードリンクが開きます。

カメラのアップデート方法

ALEXA Mini のソフトウェア・バージョンアップは USB スティックを使って行います。SUP はカメラ本体と、カメラに接続されているビューファインダー (MVF-1)、コントロールパネル (CCP-1)。レンズマウントをアップデートします。

- USB スティックを ALEXA Mini に接続して MENU > Media > Prepare USB medium を選択し、CONFIRM を押すことで、USB スティック内に必要なフォルダー構造が生成されます。
- コンピュータに USB スティックを接続し、ARRI¥A-MINI¥SUP のフォルダーに*.SUP ファイルを配置します。同様に、ARRI¥A-MINI¥LICENSES フォルダーに*.lic ファイルを配置します。
- アップデート中に電源が切れないよう、カメラを安定電源またはフル充電されたバッテリーに接続してください。
- ファクトリーリセットを行います。
- カメラから CFast カードを取り出します。
- USB スティックをカメラに接続し、MENU > System > Update を選択します。
- リストから適切な SUP ファイルを選択し、ジョグホイールを押します。
- メッセージが表示されたら CONFIRM を押し、インストールを開始します。
- アップデート終了後、成功のメッセージが表示されます。

- ・ ウェブリモートでインストールする際にはブラウザのキャッシュを削除してください。新しいファームウェアが正しく表示されないことがあります。
- ・ System Time 設定から正しいタイムゾーンを選択してください。
- ・ SUP にはカメラボディだけではなく、ビューファインダーやレンズマウント用のアップデートファイルが含まれているため、MVF-1 およびレンズマウントをカメラに装着してください。問題のないパフォーマンスを発揮するため、カメラと同時に MVF-1 やレンズマウントをアップデートしてください。
- ・ 以前の SUP バージョンにダウングレードする場合、USB スティックの ARRI¥A-MINI¥LICENSES に現行バージョンと旧バージョンのライセンスファイル (amini_fw_update_aes_x.x.x.lic)を配置します。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社ナックイメージテクノロジー

東京都港区北青山 2-11-3

営業本部 制作営業部

TEL 03-3796-7901 FAX 03-3796-7905

株式会社ナックイメージテクノロジー

東京都港区赤坂 4-13-13

営業本部 レンタル部 / カスタマーサポート部 制作技術 G

TEL 03-3583-7902 FAX 03-3583-7906